

研究課題名	デリバリーカテーテルを用いたICDリード中隔留置の有効性と安全性に関する多施設共同観察研究(SEPTAL NAGOYA study)			
実施責任者	所属・職名：循環器内科 部長			
	氏名：鶴見尚樹			
研究の概要	デリバリーカテーテルを使用して ICD リードがどのくらい正確に中隔側に留置されているのかや、中隔留置後のリードパラメータ（リード線の抵抗値や感度、出力閾値等）推移、除細動閾値（致死性不整脈を止めることが可能な最低エネルギー量）の評価、そして非中隔留置例との予後の比較が可能となると考えられます。 本研究の成果により、デリバリーカテーテルガイドでの ICD リード留置の安全性と有用性が明らかになると考えられ、より高いエビデンスを出すことが可能となります。			
対象となる個人情報	採血や画像検査結果（日常診療から得る情報も含む）、に記載された情報をカルテから取得させていただきます。追加で行う検査や受診などは必要ございません。			
実施の期間	西暦	2026 年	7 月	1 日より
	西暦	2029 年	3 月	31 日まで
研究対象	心室頻拍、心室細動の患者様（ICD 植え込み予定、または植え込み患者）			